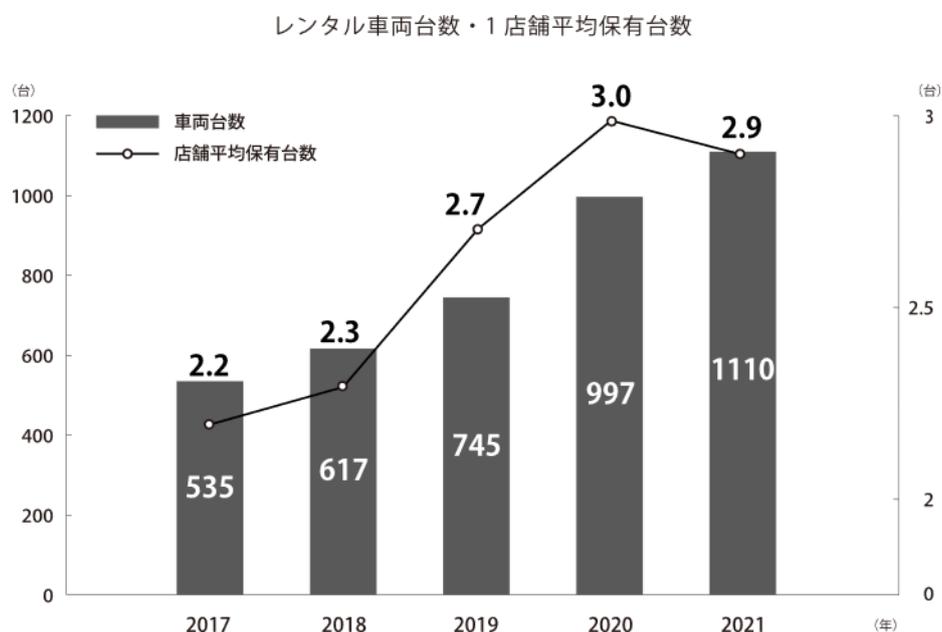




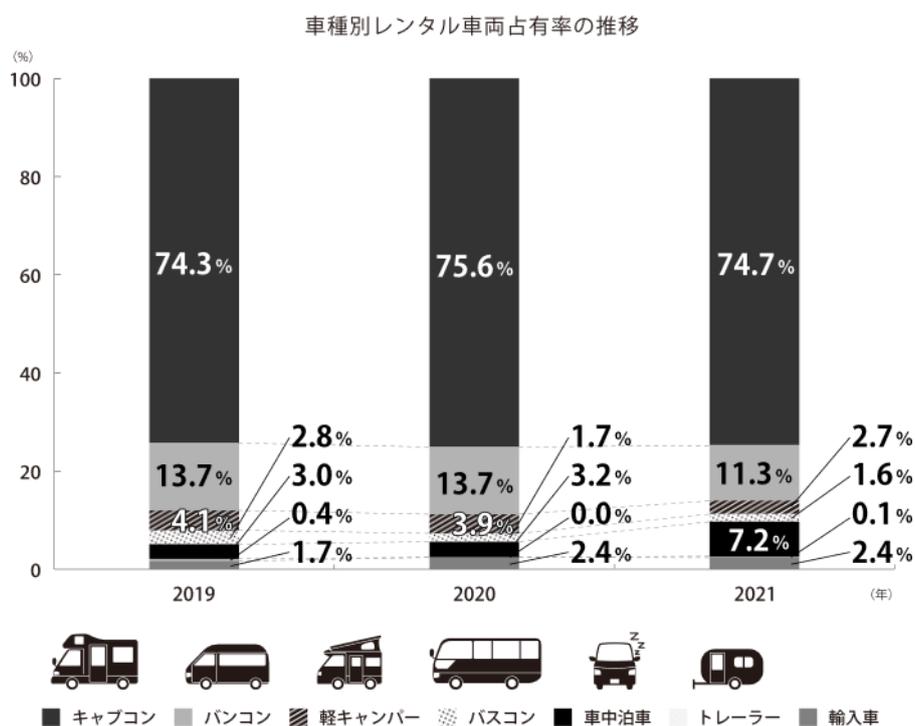
## ② レンタルキャンピングカーネット掲載店舗数の保有台数

レンタル車両台数は2020年から2021年にかけて増加しました。一方、3台未満で事業を開始する店舗が多かったことで、1店舗当たりの保有台数が減少しています。



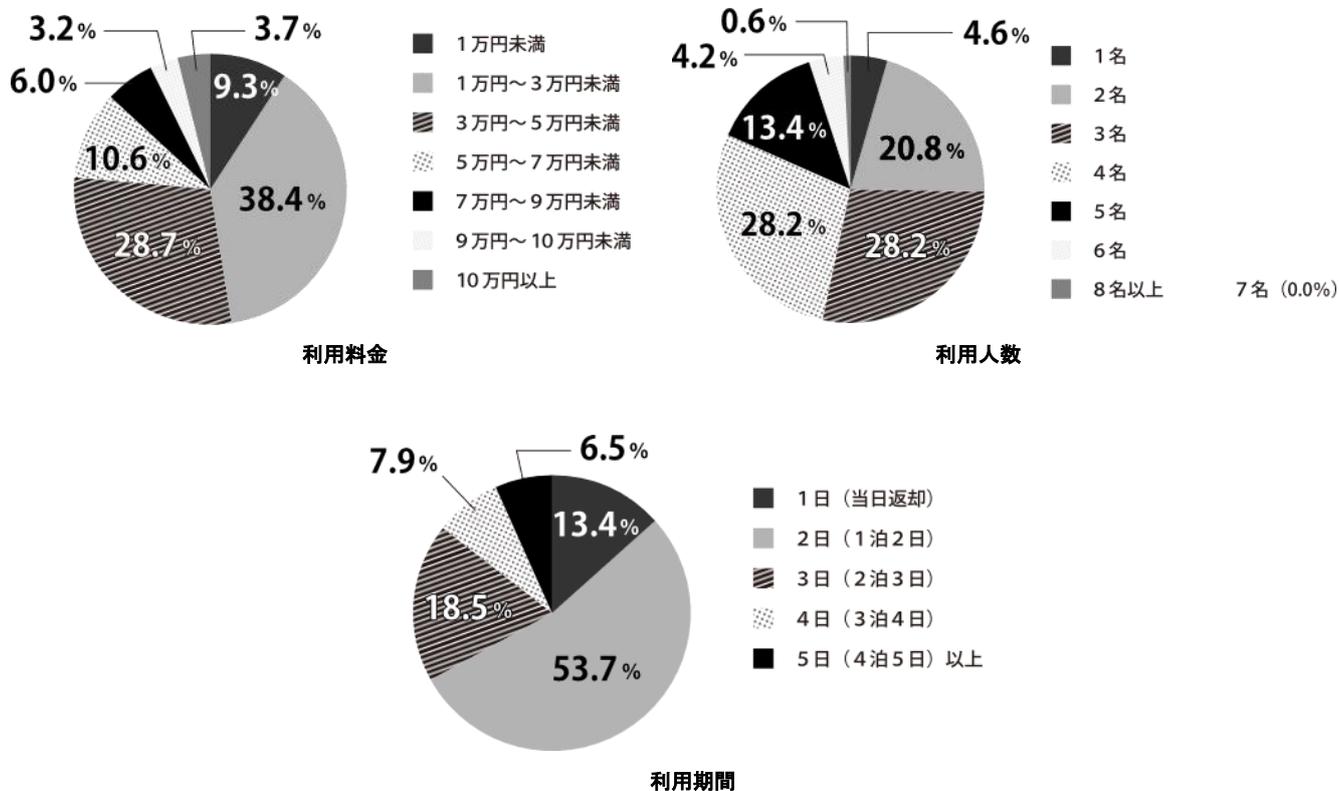
## ③ レンタルキャンピングカーネット掲載店舗のレンタル台数の車種別データ

ギャレー設備のない車中泊車タイプの導入が増加、2020年から2021年にかけて倍以上の割合まで増えています。一方でバンコンと軽キャンパーのシェアが若干縮小傾向です。



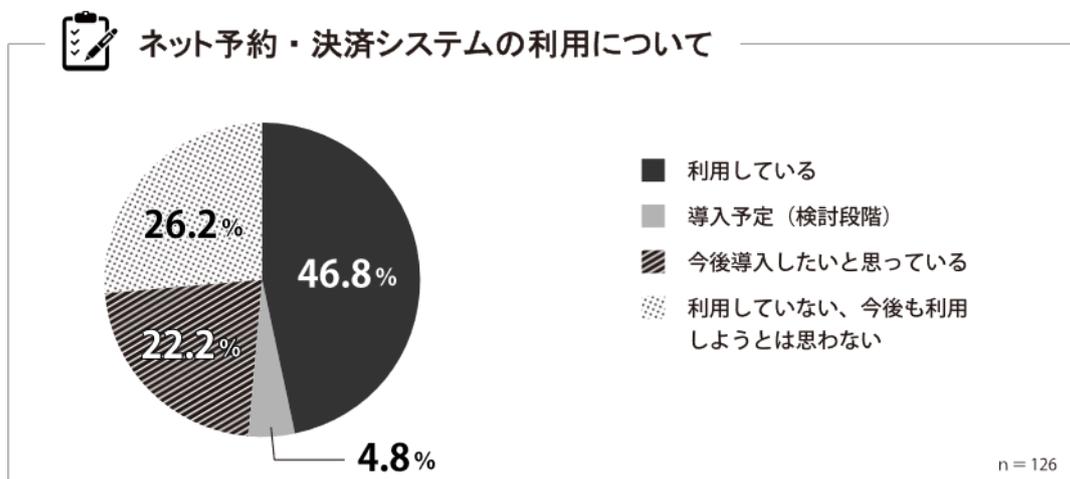
#### ④ レンタルキャンピングカーの利用料金、人数、期間

事業者アンケートと異なる部分がありますが、利用者アンケートではレンタルの利用料金は3万円未満が約半数、利用人数は1名～3名が半数以上を占めています。利用期間についても1泊2日以下が7割近くになりました。費用を抑えて少人数で短期間の利用という傾向が強いようです。



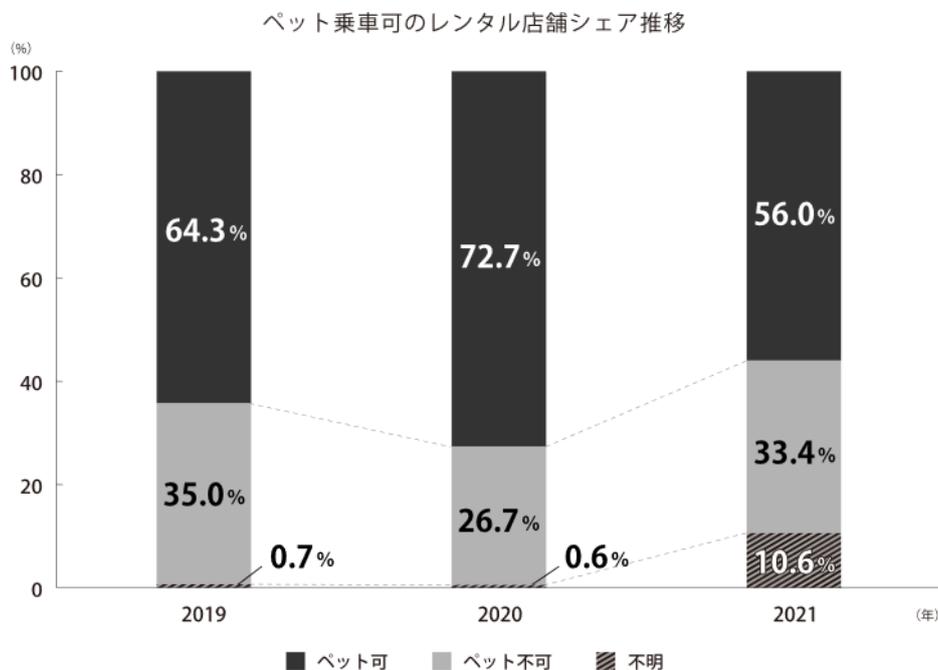
#### ⑤ ネット予約・決済システムの利用率は低下

コロナ禍においてキャッシュレス決済の普及が進み、利用者からはネット予約・決済の需要が高まっているのですが、事業者側の利用率は低く、「今後も利用を考えていない」という事業者が前回調査よりも増えています。（16.4%→26.2%）



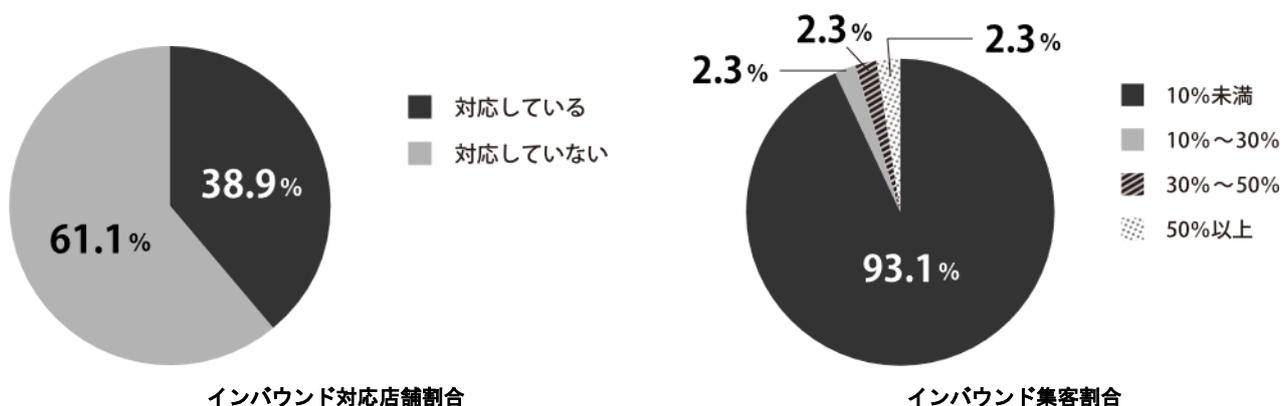
### ⑥ ペット乗車可の車両を保有するレンタル店舗が減少

1店舗当たりの保有台数が減少したことで、ペット同乗OKの車両を設定する事業者が減少しました。また、事業者アンケートによると、ペット同乗OKの車両を保有全車に設定している店舗は回答者全体の29.4%で、一部車両でペット同乗OKにしている店舗は36.5%でした。



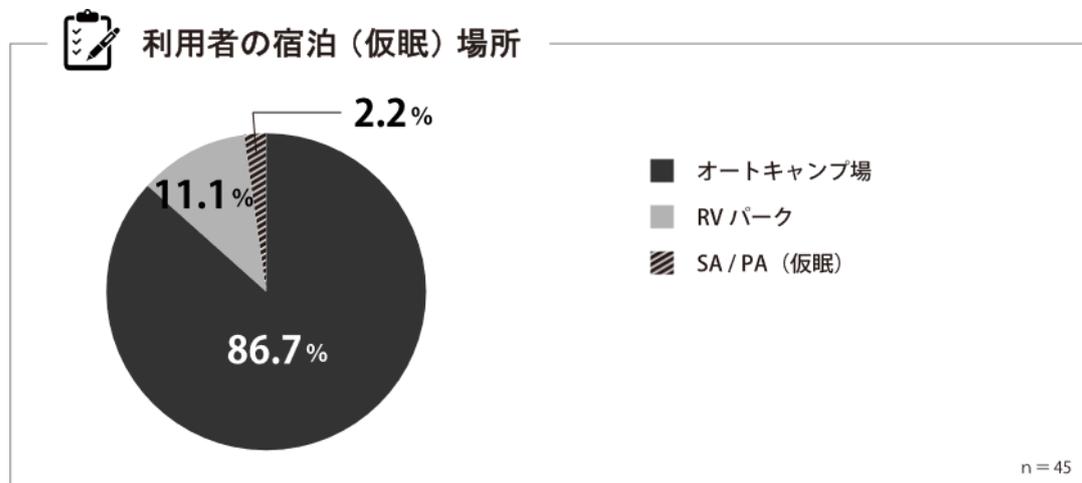
### ⑦ コロナでインバウンドの集客が止まる

2020年から2021年にかけて、渡航制限によりインバウンドの集客がストップしました。インバウンド対応店舗の割合は2021年に比べ増えていますが(29.5%→38.9%)、集客割合は激減しているという状況です。インバウンドから国内需要の対応にシフトする店舗もありました。



### ⑧ 車中泊はオートキャンプ場で

レンタルユーザーが選択する宿泊（仮眠）場所で最も多いのはオートキャンプ場でした。駐車スペースも十分確保されて、キャンプもできるオートキャンプ場は、SA/PAやRVパークに比べ、キャンピングカービギナーにとって利用しやすい施設といえます。



その他詳細データは「レンタルキャンピングカー白書 2022 ～事業者の現状と市場動向～」(全 64 ページモノクロ 定価 5,000 円税込) にて紹介しています。

#### 【紹介ページ】

レンタルキャンピングカー白書（レンタルキャンピングカーネット）

<https://rental-camper.jp/whitepaper/>

このお知らせに関するお問い合わせは、下記までご連絡願います。

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 1-9-16 IT0 広尾ビル 4F

TEL. 03-5421-2171 FAX. 03-5421-2179

Mail. car@rental-camper.jp

アイビル株式会社 レンタルキャンピングカーネット事務局

「レンタルキャンピングカー白書 2022」編集担当（滝口）まで